

八代の食を 応援

～平成30年度
フードバレーやつしろ
の成果～



「フードバレーやつしろ」とは、本市にある豊富な農林水産物や加工品の付加価値を高め、関連産業の集積により、「食」に関連するあらゆる産業の活性化を図ることで、本市の振興・発展につなげる取り組みです。

フードバレー推進課では、①海外販路開拓支援 ②国内販路開拓支援 ③6次産業化・農商工連携促進を取り組みの柱として、各分野の専門家をアドバイザーとして設置し、県や関係機関などの協力のもと、生産者や事業者の取り組みを支援しています。新たな販路開拓（国内・海外）や商品の開発・ブラッシュアップなどを検討している事業者・生産者は気軽に問い合わせください。

問合せ フードバレー推進課 ☎33-8780 Mail food@city.yatsushiro.lg.jp

① 海外販路開拓支援

■ FOOD TAIPEI 2018 出展

台湾最大の食品見本市「FOOD TAIPEI 2018」に八代ブースを出展し、市内の4事業者が出品しました。4日間後約110件の見積り依頼があり、見本市後の継続的なバイヤーへのアプローチによって、2件（ドレッシング類、大麦商品）が取り引きにつながりました。

■ 香港飲食店での八代フェア実施

香港の日本食レストランで、1月16日（水）～31日（水）の間、八代フェアを実施しました。期間中は、養殖カキや車エビ、トマト、その他加工品などを使用した限定メニューを販売し、八代のうまかもんを味わってもらいました。養殖カキについては、フェア終了後も引き続きメニューに加えられています。

■ 台湾基隆市での県南フードバレーフェア開催

台湾基隆市で2月16日（土）・17日（日）の2日間、県南フードバレーフェアを開催し、物産販売、観光PR、日本茶セミナーや日本舞踊など日本文化の紹介を行いました。また、フェア終了後には、販路開拓に向けた取り組みとして、台湾のバイヤーとの商談を実施しました。

■ 海外バイヤーとのマッチング

海外バイヤーによる農産物の産地視察や、バイヤーと市内事業者との商談を実施しています。たとえ商談が成立しなくても、海外のニーズや自社の課題を知る機会となり

ます。また、課題解決に向けたフォローアップも行っています。

今年度は、台湾やマレーシア、南アフリカ、オーストラリアのバイヤーと商談を行い、このうちオーストラリアのバイヤーがイグサ製品の取り扱いについて検討しています。

■ 香港・台湾への農産物輸出

香港の春節（旧正月）の贈答用として、八代特産の晚白柚約3000個が八代港から輸出されました。香港への晚白柚の輸出は、平成26年度に始まり、今回で5回目です。また、イグサ製品についても、継続的に台湾に輸出されており、現地百貨店などで販売されています。



- ① FOOD TAIPEI 2018（海外）
- ② 台湾基隆市での県南フードバレーフェア
- ③ 香港晚白柚フェア

②国内販路開拓支援

■販路開拓をサポート

国内における販路開拓に取り組まれている生産者・事業者を訪問し、農林水産物や加工品の種類・量に応じた販路の紹介を行っています。

■農林水産物・加工品のマッチング

青果としての販路や、加工品などの原料としての販路を開拓するため、大手食品メーカーから小売店まで幅広く、八代産農林水産物の提案を行っています。

また、市内事業者が製造する加工品を、卸業者や商社、飲食店などへ提案しています。店舗でそのまま販売・提供される商品や、再加工されて新たな商品になるものなど、販路先のニーズに応じたマッチングを行っています。

この他にも、メーカーなどから要望のあった農林水産物や加工品を探し、紹介する業務なども行っています。

(実績の一例)

- ・八代産ジビエ(猪肉)を福岡市内のフランス料理店に提案し、期間限定メニュー「猪とフォアグラのパイ包み焼」として採用されました。
- ・八代産シヨウガを福岡市内の飲食店に提案し、「いなりずし」の具材として採用されました。



▲猪とフォアグラのパイ包み焼

③6次産業化・農商工連携促進

■事業者の活動支援

新商品開発や販路拡大、農産物のブランド化などに関する支援のため、相談会の開

催や定期的な事業者訪問を実施しています。

今年度は、本市特産の晩白柚を使用した「くまもとラスク」や熊本県産トマトと不知火を使用した「トマトあまぎけ」、「デコ姫あまぎけ」を開発しました。

また、昨年度から引き続き、九州最大の消費地である福岡市で、本市の農林水産物や加工品などを販売する物産展を開催しました。

④その他

■八代産農林水産物等PR事業補助金

展示会や商談会に出展する際に必要となる出展料や旅費などの経費について、補助(対象経費1/2以内 限度額50万円)を行います。

平成30年度は、12事業者が補助金を利用して、見本市出展や商談会参加を通じた国内外の販路開拓に活用されています。

■収穫体験事業

本市で採れる豊富な農林水産物を収穫し

TOPIC

平成30年度の新たな取り組み 食関連産業 マッチング交流会



市内の事業者を訪問、相談会を実施する中で、「市内の事業者や特産物を紹介してほしい」「共同して開発に取り組みたい」との要望が多数ありました。そこで、市内の食に関する事業者同士の連携や販路拡大を目的に、「食関連産業マッチング交流会」を今年度、初めて開催しました。

市内の11の事業者が出展し、当日、会場にも25の事業者が来場。交流会では、商品などの情報交換や個別商談など、全体で25件の商談が行われ、そのうち4件が成約に至りました。

今後も出展事業者の皆さんの意見を聞きながら、より良い内容で開催できるよう取り組んでいきます。

voice

出展した事業者

- ・個別商談で成約でき、大変うれしい。
- ・来場者数が少なかったが、新しい出会いもあり、良かった。
- ・事業者以外の人たちが参加してもおもしろいと思った。

参加した事業者

- ・良い商談ができた。
- ・商品開発に適した食材が見つかった。
- ・交流会で必要な情報を得ることができた。今後も参加したい。



⑤



④



⑥

- ④ くまもとラスク
- ⑤ トマトあまぎけ
デコ姫あまぎけ
- ⑥ ヤマメ釣りを楽しむ参加者
(収穫体験モニターツアー)